



九州自然歩道の旅②

前回8月8日付では全長

約3千キロの「九州自然歩道」の起点・皿倉山から福智山まで紹介しました。今回は平尾台へと歩を進めます。

朝のひんやりとした風の中、その福智山から石原町（北九州市小倉南区）へ下山。登山口の鱒沢ダムから久しぶりの舗装路になります。日常生活では自然を感じる山道が恋しくなりませんが、山の中にいると舗装路が恋しくなるのが不思議です。山間の小さな集落を歩いていると、地元のおばあちゃんが話しかけてくれました。「ここから先は行き止まり。石原町なら前の道を左に行きなさい」。危うく道の間違えるところ。おばあちゃん、ありがとう。元の道へ戻りしばらく歩くと櫛ヶ峠トンネルです。身震いするような風が吹き

抜け、少し怖くなって速足で抜けると石原町に到着です。さっそく地元のラーメン屋さんでお昼ご飯。体に染み渡るとはこのことか、と思うほど山から下りた後のラーメンは格別です。体力を回復させた後はいよいよ平尾台の峠越え。ここは歩道がなく車の交通量が多いため、注意しなければ

ばいけません。かなり長い登り坂ですが横を向けば石原町、そして今まで歩いてきた山々を見ることができそうです。「もっと上から景色が見たい！」という気持ちで登り続けると、いつの間にか吹上峠に。峠から振り返る一望は素晴らしい、自分で歩いたからこそ味わえる感動があります。

ここからまた自分を奮い立たせ、さらに平尾台の大平山を登ります。平尾台は遮るものがないため、風が気持ちよく吹いています。風と一緒に感じる感覚、これが気持ちいいんです！歩いていても疲れが癒やされ、グングン進むことができます。そして大平山山頂からは平尾台を一望。3億年前のサンゴ礁が姿を変え、地上に現れた石灰岩地層の平尾台ならではの「カルスト地形」が目前に広がります。約6時間半、距離にして約20キロ。地球の雄大な自然に触れた旅でした。

来月は、千仏鍾乳洞を通り福岡県みやこ町へと向かいます。（九州自然歩道フォーラム会員＝福岡市）

◆ ◆
 第2木曜掲載
 次回は10月10日

10月26、27日の1泊2日で九州自然歩道フォーラムが開催する「九州自然歩道ウォーク―秋のくじゅう坊ガツル編」。坊ガツルの紅葉を見ながらのんびり歩き、夜はロングトレイルについて語り合います。NPO法人グリーンシティ福岡 092(215)3913 (ファクス兼用)。

雄大な自然に触れる

福智山―平尾台



平尾台のカルスト台地に広がる石灰岩柱

